



令和5年 鎌ヶ谷市議会定例会6月会議報告

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」等を 活用した23事業(約7億9千万円)の補正予算を含む 議案を可決

6月会議では、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響が続くなかで、市民生活への影響を軽減する事業など議案8件、同意案11件を可決しました。

その主な内容は、以下のとおりです。

●子どもの成長応援臨時給付金の給付 (約1億7千万円)

将来を担う子ども達の豊かな成長につなげるため、未就学児や小中学生、高校生(2・3年)等の子どもに対し、1人あたり1万円を給付するもの

※高校1年生は、千葉県が学校等を通じて別途給付

※小中学生は、千葉県事業として実施し、それ以外の対象者は、市が独自に実施



●キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施(約1億2千万円)

消費の下支えや事業者支援のため、キャッシュレスでの決済に対し、ポイント還元を実施するもの(還元率15%、ポイント付与対象期間は秋以降を予定)

●給食費高騰への支援(約6千万円)

小中学校、保育所等、幼稚園の給食の賄材料費の物価上昇分について、保護者への負担を求めず、公費で補てんするもの

●低所得世帯に対する重点支援給付金(約4億4千万円)

住民税非課税世帯や住民税均等割課税世帯等について、1世帯あたり3万円を給付するもの

※国が実施を求めている住民税非課税世帯に加え、住民税均等割のみ課税される世帯等へも市が独自に実施

●中小企業信用保証料の補助(約6百万円)

市制度融資を活用する市内中小企業を対象に、信用保証料を補給するもの

市政レポート

●新型コロナウイルスワクチン接種情報

新型コロナウイルス感染症は、5月8日から5類感染症に移行されましたが、引き続き、自己負担なくワクチン接種が受けられます。令和5年度は、現在、春開始接種が行われ、8月までの間に65歳以上の方や基礎疾患を有する方などを対象に1回の接種が行われます。

秋開始接種は、9月以降に開始され、追加接種が可能な5歳以上の方を中心に1回の接種が行われます。市は、引き続き集団接種や個別接種により対応する予定です。

●公共施設の屋根を活用した太陽光発電設備の設置

市では、2050年カーボンニュートラル(地球温暖化の原因となる二酸化炭素等をはじめとする温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする取組のこと。エネルギーを使用することで人為的に排出される温室効果ガス排出量から、植物が光合成で吸収する量を差し引き、合計を実質的にゼロにする意味合い。)を目指す取組を進めています。

令和5年3月31日に、市は、TNクロス株式会社と京葉ガス株式会社とで構成される共同事業体と「公共施設への再生可能エネルギー設備導入等事業に係る協定」を締結し、温室効果ガスの排出抑制と災害時における電力確保について、協力して推進することにしました。

内容は、市が事業者に対し、太陽光発電設備や蓄電池の設置場所として公共施設を貸し、その設備により発電された電力を事業者から購入するもので、市としてはその設備の初期費用や維持管理費の負担なく、再生可能エネルギー由来の電力の使用が可能となります。

鎌ヶ谷市議会政友会としては、令和5年度予算の要望事項に「地球温暖化対策の取組として、民間を活用した公共施設等への太陽光発電の設備の設置に積極的に取り組むこと」を要望しており、この取組が、温室効果ガスの削減に寄与することや、災害時に避難所となる小中学校等への設備設置が進むことで災害時の適応力の強化にも期待しています。



太陽光発電設備(消防本部)

6月会議を終えて

新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の長期化から続く物価高騰により、市民生活への影響が続いており、市では国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した市民生活支援の取組を進めています。

二元代表制の一翼を担う市議会としては、今後もコロナ禍からの脱却と市のさらなる成長と発展を目指し、切れ目なく施策が展開されるよう全力を傾けてまいります！



勝又まさる —プロフィール—

議会所属委員会など

●総務企画常任委員会 委員

●議会運営委員会 委員

●都市計画審議会 委員

●社会福祉協議会 評議員